

未来の自分に ひとり一人が輝ける 生徒の育成
—ふるさと新宮を愛し、誇りをもつ心を育む—

文責 (校長) 圓 田 雅 也

— 2学期終業式(式辞) —

今日で2学期が終了し、あと1週間で今年も終わりとなります。皆さんにとって、どのような2学期、あるいは一年でしたか。

皆さん、元気で無事に、この1年間、そして2学期を終えられたことに、安心と感謝の気持ちを抱いています。

本年度、新学年がスタートした4月からのことを振り返ると、大きな行事として大阪万博への校外学習がありました。全校生徒での校外学習は、とても貴重な経験だったと思います。現地では、それぞれの学年で、違ったパビリオンの見学もあり、君たちの将来や今後の未来につながる学習になったことを感じています。同じく4月の3年生の修学旅行は、一生に一度の最大で最高の良い思い出になっていることだと思います。体育祭も、全校生徒みんなの力を合わせて、成功へと導くことができました。

2学期は、1年生のわくわくオーケストラ、2年生のトライやるウイークがありました。さらに、文化発表会では、一人ひとりはもちろん、学級や学年全体としても活躍することができました。皆さんは、このような活動や経験、学校行事等を通して、大きく成長していると感じています。

先日、前期の生徒会選挙で、新しい役員が決まりました。今後は、本校の伝統を引き継ぎ、2年生や1年生が中心となり、学校をさらに盛り上げてくれることと期待しています。

さて、新年を迎えるにあたり、今年、ノーベル生理学・医学賞を受賞された坂口志文さん(大阪大学特任教授)、ノーベル化学賞を受賞された北川進さん(京都大学特別教授)のことを紹介します。この方々のことを知っている人も多いと思いますが、このお二人を支えた言葉があります。それは、「運・鈍・根」だそうです。「運」は、【幸運に恵まれる事】、「鈍」は、【周りに流れれない鈍感力】(ストレスをうまく受け流すポジティブな能力)、「根」は、【根気強く続ける事】です。先日、直接 SPring-8(スプリングエイト:大型放射光施設)で北川さんのお話を聴く機会があり、その中で、最終的に大切なことは、「あきらめない」気持ち、すなわち「ネバーギブアップ精神」が大切だとおっしゃっていました。

この冬休みは、3年生の皆さんには、進路に向かって大事な時期となります。また、1年生は先輩として、2年生は最上級生として、次の学年への準備とともに、それぞれの夢や目標に向かって、「ネバーギブアップ精神」で頑張ってほしいと思っています。

最後になりますが、12月8日に発生した青森県の地震は記憶に新しいことだと思います。年末年始には、自然災害を含む、命に係わるような災害、そして事故や事件などにも、巻き込まれないよう、気を付けながら充実した冬休みを送って下さい。そして、3学期の始業式には、無事で、元気なみなさんと会えることを楽しみにして、2学期の式辞とします。

それでは、生徒の皆さん、良い新年を迎えてください。